

笹賀地区

令和5年度

推進交付金：700,000円

取組み1 福祉ひろばの利用促進

(笹賀地区福祉の地域づくり協議会・笹賀福祉ひろば)

(1) 目的

コロナ禍により利用が減少した福祉ひろばの利用促進を図ります。

(2) 取組み

福祉ひろばで毎月開催している「ふれあい健康教室」において、運転免許証のない方や返納した方、クルマの運転に自信のない方などを対象に、タクシーによる無料送迎サービスを昨年度10月から行っています。今年度9月からは、「ふれあい健康教室」に限らず、福祉ひろばが主催する全事業を無料送迎サービスの対象にしました。また、近くの町内公民館ではなく、自宅まで迎えに行くことに変更したため、利用者の利便性が向上しました。



(3) 今後の展開

- ア 毎月「笹賀地区だより」で無料送迎サービスの周知をしていますが、なかなか浸透していません。様々な媒体を使って周知を図ってまいります。
- イ 利用者の数は増減を繰り返しながらも少しずつ増えているので、今後は福祉ひろばに限らず、笹賀公民館など他団体主催の事業にも拡大してまいります。また、福祉タクシーによる障がい者等の無料送迎サービスも検討してまいります。

取組み2 子ども・子育てを応援

(笹賀地区福祉の地域づくり協議会)

(1) 目的

子ども・子育てを応援するとともに、異世代交流を促進します。

(2) 取組み

ア 笹賀地区福祉の地域づくり協議会設立10周年を記念して、8月に「腹話術ハローカンクロー・人形劇さんびきのこぶた」を開催しました。大勢の親子連れのほか大人の方も多数参加いただき、夏休みのひととき、子どもも大人も一緒に盛り上がりました。また、12月には記念事業の第二段として「おはなし♪オルガン」コンサートを開催しました。小さなお子さん連れのパパ・ママをはじめ、三世代、50名を超える皆様と豊かなクリスマスのひとときを満喫しました。

イ 地区内で自主的に行われる子育て事業に対し支援をおこないました。



(3) 今後の展開

これからも、異世代交流事業の充実を図るとともに、子ども・子育てを応援して参ります。

取組み3 地区文化の継承

(笹賀地区福祉の地域づくり協議会)

(1) 目的

地区の文化を次世代に継承します。

(2) 取組み

大阪の造幣局で毎年行われている「桜の通り抜け」の桜祭りに松本で生まれた品種「笹賀鴛鴦桜」が平成26年4月、新たに仲間入りしました。

地区名が付き、笹賀の宝となったこの桜の育成と保守管理が必要なことから、当時の笹賀公民館長の呼びかけにより「笹賀おしどり桜守る会」が結成されました。今回、“樹名札を製作して皆が認識できるようにしたい。”との要望をいただきましたので、守る会と協力して樹名札を製作し、各場所へ設置しました。



(3) 今後の展開

今後も「笹賀おしどり桜」が、地域の人々から愛され、後世に受け継がれ、大切にされるよう支援して参ります。